

平成 20 年 3 月 14 日

各位

会社名	大和証券エスエムビーシー プリンシパル・インベストメンツ株式会社
代表者名	代表取締役 渡辺 秀雄
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
問い合わせ先	大和証券エスエムビーシー株式会社 経営企画部広報課 03-5555-3039 (神田・岡田・山崎)

三井鉱山株式会社の株式の売出しについて

大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社（大和証券エスエムビーシー株式会社の 100%子会社、以下「当社」という。）は、当社が保有する東京証券取引所第一部上場の三井鉱山株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長小倉清明、以下「三井鉱山」という。）の普通株式のうち、単元未満株式を除く全部の売出しを行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 売出株式数

三井鉱山普通株式 43,301,500 株

2. 売出価格

未定（平成 20 年 3 月 25 日（火）から平成 20 年 3 月 27 日（木）のいずれかの日に決定される。）

3. 売出し前後の普通株式の所有株式数及び総株主の議決権の数に対する割合（平成 20 年 3 月 14 日現在）

売出し前の所有株式数 43,301,783 株（ 18.8%）

売出し後の所有株式数 283 株（ 0.0%）

※ 総株主の議決権は、平成 20 年 3 月 14 日現在で確定している総株主の議決権（平成 19 年 9 月 30 日現在）をもとに算出しております。

当社は平成 17 年 3 月に新日本製鐵株式会社（以下、「新日本製鐵」という。）及び住友商事株式会社（以下、「住友商事」という。）と共に株式会社産業再生機構が保有する三井鉱山の普通株式

の一部及びA種優先株式（全て普通株式への転換済）を取得致しました。

株式取得後、当社は新日本製鐵及び住友商事と共に、コア事業である石炭・コークス事業への経営資源の集中を始めとする事業再生に向けた、中期経営計画の策定とその実行を中心とする三井鉱山経営陣および従業員の企業価値向上に向けた取り組みを支援してまいりました。今年2月22日に三井鉱山より公表の通り、三井鉱山の業績は中期経営計画対比で堅調に推移、また、復配やB種優先株の対応に目処をつけるとともに、新日本製鐵及び住友商事との提携も強化しており、三井鉱山経営陣は、事業再生は最終段階を迎えるとしています。

このような状況を踏まえ、弊社の役割は終了したものと判断し、三井鉱山の株式の流動性を高めつつ、投資資金の回収を図るために、売出しによる売却を実施するものです。

なお、弊社より派遣しております三井鉱山の社外取締役は本日退任いたしました。また、売出し後の所有株式283株については、早期に処分する予定です。

以上

(注)

この文書は、株式売出しに係る勧誘を目的とするものではありません。

本株式売出しは発行会社の経営内容・財務状況等の詳細を記した目論見書をもって行うこととなっています。

目論見書は引受証券会社を通じて入手することができます。